

昭和33年度 (昭和33年3月1日から昭和34年2月28日まで) 事業報告および会計報告

事 業 報 告

I. 会 議

本会運営上の会議を次の通り開催した。

1. 総 会

第 43 回通常総会 33年 4 月 2 日開催

付議事項

- (1) 理事, 監事および評議員選挙 (別掲の通り当選者決定)
- (2) 昭和 32 年度事業報告, 収支決算並びに財産目録の件 (承認可決)
- (3) 昭和 33 年度事業計画並びに収支予算の件 (承認可決)
- (4) 定款一部変更の件 (理事定員 11 名を 15 名に増加, 承認可決)

2. 評議員会

第 1 回評議員会 33年 5 月 15 日開催

付議事項

- (1) イー・シー・ベイン氏を名誉会員に推挙の件 (承認可決)
- (2) 理事1名補欠選挙の件 (富山英太郎君当選決定)

第 2 回評議員会 33年 10 月 6 日開催

付議事項

- (1) ヘルベルト・ゼドラチェック氏を名誉会員に推挙の件 (承認可決)
- (2) フランツ・ウェーファー氏を名誉会員に推挙の件 (承認可決)

第 3 回評議員会 33年 12 月 12 日開催

付議事項

- (1) 表彰規程一部変更の件 (表彰規程中に渡辺(義介)賞および渡辺(義介)記念賞を追加することを承認可決)

第 4 回評議員会 34年 2 月 24 日開催

付議事項

- (1) 桂弁三, 小島新一両氏を名誉会員に推挙の件 (承認可決)
- (2) 次期理事, 監事, 評議員候補者推薦の件 (候補者推薦決定)
- (3) 昭和 33 年度事業報告, 収支決算並びに財産目録の件 (承認可決)
- (4) 昭和34年度事業計画並びに収支予算の件 (承認可決)

3. 理事会

33年 3 月 20 日, 4 月 2 日, 4 月 28 日, 5 月 13 日, 6 月 9 日, 7 月 8 日, 9 月 5 日, 10 月 14 日, 11 月 11 日, 12 月 2 日, 34年 1 月 13 日, 2 月 24 日の 12 回開催し, 毎月の事務並びに会計事項, 会員の入退会その他一般会務を協議決定した。

5. 編集委員会

33年 3 月 25 日, 4 月 25 日, 5 月 27 日, 6 月 25 日, 7 月 22 日, 8 月 26 日, 9 月 24 日, 10 月 28 日, 11 月 28 日, 12 月 26 日, 34年 1 月 27 日, 2 月 18 日の 12 回開催し, 会誌の編集方針, 企画, 掲載論文の選定, 技術資料の蒐集その他会誌編集に関する一切の事項を協議処理した。

5. 企画委員会

33年 5 月 9 日, 5 月 20 日, 6 月 17 日, 11 月 25 日, 12 月 16 日, 34年 1 月 26 日の 6 回開催し, 事業運営上の諸企画につき審議立案した。

6. 支部長会議

33年 4 月 5 日開催, 各支部の事業状況の報告があり, 協会発展に関する件, 本部支部間連繫に関する事項等につき協議した。

II. 会 員

本年度において次の通り会員の異動があった。

異動	会員別		維持会員		正会員	学 生 会 員	外 国 会 員	合 計	会員団体 組 織 数
	名 誉 会 員	賛 助 会 員	員 数	口 数					
昭和33年2月28日現在	18	39	社 173	口 896	5,420	232	26	5,908	75
入 会	+ 3		+ 8	+ 9	+ 303	+ 155	+ 3	+ 472	
退 会			- 6	- 7	- 77	- 17		- 100	
死 去	- 2	- 1			- 13			- 16	
転 格					+ 102	- 102			
昭和34年2月28日現在	19	38	社 175	口 898	5,735	268	29	6,264	80

Ⅲ. 役員および常置委員

本年度において次の通り役員および常置委員の異動があつた。

1. 理事

33年4月2日開催の通常総会において任期満了の理事の改選および増員理事の選挙を行ない、次の通り当選、就任した。

石原 善雄 大原 久之 川崎 勉 塩沢 正一
武田 喜三 松本 豊 柳 武 山本 信公
吉崎 鴻造

同日理事会において互選により次の通り当選就任した。
会長 塩沢 正一 副会長 石原 善雄

33年5月15日開催の評議員会において理事青木不二男君辞任に伴う理事の補欠選挙を行ない、富山英太郎君当選就任した。

2. 監事

33年4月2日開催の通常総会において任期満了の監事の改選を行ない、次の通り当選就任した。

田畑新太郎

3. 評議員

33年4月2日開催の通常総会において任期満了の評議員の改選および欠員の補欠選挙を行ない、次の通り当選就任した。

青木 均一 芥川 武 浅輪 三郎 葦沢 大義
網谷 俊平 綾部 先 荒木 透 伊藤 五朗
井関 剛 井村 荒喜 石田 四郎 石塚 条蔵
石原寅次郎 石原米太郎 今井勇之進 岩井雄二郎
岩瀬 慶三 内川 悟 小田原大造 小野 清造
大元 博 太田 久男 荻野 一 奥村 福次
金森 九郎 河田 重 木下 茂 菊田多利男
北川 一栄 久保田 豊 黒田 泰造 小平 俊雄
小林佐三郎 佐野 幸吉 西郷 吉郎 里見 雄二
寒川恒一郎 志村清次郎 篠原 武司 菅野 猛
園田 一夫 田中 国雄 田中 徳松 高尾善一郎
武田 修三 谷口 光平 谷村 潔 千葉 茂
出淵 国保 富山英太郎 中安 閑一 中山 育雄
西村吉太郎 西山弥太郎 野島福太郎 橋本 宇一
藤川 一秋 藤村 哲之 福島 政治 堀田 之孝
堀田 秀次 松永陽之助 松原与三松 箕田 貫一
皆川 孝光 宮代 彰 村上武次郎 森 暁
森 竜郎 森棟 隆弘 八木貞之助 山川 貞雄
湯川 正夫 和田 亀吉 渡辺 博史
大河原正太郎(補欠) 松本義一(補欠)

4. 常務委員

33年5月14日芥川武、5月24日遠藤勝治郎を常務委員に委嘱した。

5. 編集委員

33年5月14日藤田利夫、10月22日草川隆次、34年1月14日山田繁を編集委員に委嘱した。

6. 企画委員

33年10月23日一戸正良、知崎喬、中馬淳を企画委員に委嘱した。

Ⅳ. 事業

本年度における事業の概要は次の通りであつた。

1. 会誌

「鉄と鋼」第44年第3号から第45年第2号まで12冊(うち3月号および9月号は講演前刷)を発行した。

2. 刊行物

Tetsu to Hagané Abstracts.

No.6 (1956年) 発行済。No.7 (1957年) は発行準備中。

Japan Science Review, Mining and Metallurgy (日本鉱業会その他6学会と共同編集)

Vol. 2, No.1 発行済。Vol. 2, No.2 は発行準備中。

鉄鋼技術共同研究会報。(鉄鋼技術共同研究会)

第9号, 第10号, 第11号。

3. 鉄鋼技術講座の編集

「使用者のための鉄鋼技術講座」編集の目的をもって32年7月に編集委員会を設け、鋭意編集の事業に当たつたが、この程準備略完了したので、近く刊行を見る予定。

4. 鉄鋼便覧の改編

鉄鋼便覧は既に改編4版を重ねたが、更に新事態に因應するため改編に着手することとなり、33年7月これがために改編委員会を設置、同委員会において鋭意改編事業に当たつている。

5. 俵先生記念出版委員会

前会長俵国一先生の功績を記念するため、記念出版を行うことに決定、34年2月俵先生記念出版委員会を設け、その事業に当ることとなつたが、最初に「先生の思い出」を刊行することとし、これが準備に着手した。

6. 原子力研究委員会

原子力工業の発展に対応する鉄鋼生産技術の育成に必要な調査研究を行うことを目的として32年7月に設置された本委員会は、爾後度々会合を開いて調査研究を行ない、またその内に文献専門委員会を設けて関係文献の蒐集頒布に努めている。

7. 鉄鋼技術共同研究会(通産省重工業局、日本鉄鋼連盟および本会の三者共同組織)は、製鉄、製鋼、鋼材特殊鋼、熱経済技術、品質管理、調査の部会に分れ、各部会はまたそれぞれ分科会に分れて研究事項を分担、引続き活発な調査研究を行なつていながら、本年度は更に新技術開発部会(直接還元法分科会、真空冶金分科会を含む)を設け、その事業活動を推進した。

8. 講演会、見学会および講習会

(1) 春季講演大会

33年4月2日から4日まで3日間東京大学工学部において開催、研究発表講演128、特別講演4。

4月5日日本原子力研究所東海研究所ほか10カ所の工場、研究所等の見学を行なつた。

(2) 秋季講演大会

33年10月17日から19日まで3日間名古屋大学工学部において開催、研究発表講演114、特別講演1。

10月20日名古屋工業技術試験所ほか26カ所の工場研究所等の見学を行なつた。

(3) 講演会

33年4月17日東京都日本生産性本部ホールにおいて開催。

アメリカ合衆国における電気製鋼炉の最近の発達について。

講師 レクトロメルト・ファーネス・ディヴィジョン
社長 ウィリアム・ウォーリス氏

33年5月27日東京都大和証券ホールにおいて開催。
アメリカにおける冶金学研究の最近の進歩

講師 元ユーエス・スチール副社長
イー・シー・ベイン氏

33年10月17日名古屋大学工学部において開催。
鉄鋼研究の発展過程について

講師 西独マックス・プランク鉄鋼研究所長
フランツ・ウェーファー氏

33年11月13日東京都日本相互ホールにおいて開催。

鋼の熱処理の基礎的問題について

講師 西独マックス・プランク鉄鋼研究所長
フランツ・ウェーファー氏

(4) 講習会

33年7月14日、15日の両日、日本學術振興会第19
委員会と共催にて、東京大学工学部において「鋼中非金属
介在物」講習会を開催、堀川一男氏の「新学振法の説
明」を初め8講師の講義並びに実習を行なった。

(5) その他

他学協会との共催にて次の通り開催した。

- 第8回品質管理大会
- 塑性加工講演会およびシンポジウム
- 第3回金属材料の強度および疲労に関する総合シン
ポジウム
- 第3回原子力シンポジウム
- 第2回材料試験連合講演会

9. 表彰

昭和33年4月2日通常総会において表彰式を行ない、
鉄鋼技術の功労者に下記の賞を贈り表彰した。

- 服部賞 藤木俊三君
- 香村賞 金丸陟章君
- 俵賞 { 三島徳七君
牧野昇君
- 渡辺賞 松永陽之助君
- 協会賞 秋元信一君 岡勇君 岡本穎二君
桑原康長君 { 菅沢清志君 谷口豊吉君
板倉務君
福田宣雄君 前田正義君 三宅貞信君

10. 鉄鋼標準試料の分譲

従来に引続き鉄鋼標準試料の分譲を行なっているが、

最近需要増加のため品切を生じ、分譲に支障を来たしたので、特に鉄鋼標準試料委員会を設けて対策を研究、製造依頼先の増加、分析の促進等に努力したので、その後製造分析ともに着々進行し、22種の試料全部を整備、分譲の求めに応じ得ることとなり、本年度における分譲数602本に達した。

11. 対外関係

(1) 英文 Tetsu-to-Hagané Abstracts No.6(1956)を発行し、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン、ポーランド、スペイン、ノルウエー、カナダ、インド、インドネシアその他の海外諸国の鉄鋼関係学協会、大学、図書館、研究所、会社、商社等に寄贈し、技術の紹介、交流に資した。なお Abstracts No.7(1957)は目下刊行準備中。

(2) 他の6学協会と共同で Japan Science Review, Mining and Metallurgy Vol. 2, No.1 を編集刊行して広く海外に送った。Vol. 2, No.2 は刊行準備中。

(3) アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、インド、インドネシアその他の諸国の鉄鋼会社その他の諸団体と引続き会誌その他の印刷物の交換をした。

(4) Abstracts 所載論文の原文翻訳の依頼等を初め取引の紹介、その他の照会斡旋多きを加えたが、これらに対しそれぞれ回答を發し彼我の意思疏通、技術の交流に資した。

(5) さきに外国会員制度を設けたが、入会者漸次増加した。また書店を通じての会誌の海外頒布も増加した。

V. 地方支部

北海道支部、東北支部、北陸支部、東海支部、関西支部、中国四国支部、九州支部の各支部においても、それぞれ講習会、見学会、研究会、講演会等を開催した。

VI. 庶務事項

1. 昭和33年5月14日 昭和32年度事業報告・収支決算書、昭和33年度事業計画、収支予算書および第43回通常総会報告を文部大臣に提出した。

2. 昭和33年5月14日 定款変更の認可申請を文部大臣に提出、10月16日認可があつた。

3. 昭和33年12月19日 定款の登記変更、理事の登記変更および資産総額に関する登記変更申請を東京法務局日本橋出張所に提出、登記を了した。

会計報告

一般会計収支決算

収		入	支		出
費目	金額	金額	費目	金額	金額
前年度繰越	305,980円		会誌		6,447,759円
年度維持会	10,475,225		印刷集送		5,148,180
学生会	4,423,568		刊行		357,475
正学外生国	5,784,446		アブストラクト		942,104
入加大会	173,555		鋼鉄熱経済		513,998
出大会	28,436		の熱製造		473,103
大講習会	65,220		ラクト		0
席参加	479,075		物理		0
会出	447,100		その他		40,895
講習会	31,975		合議大		716,718
議収	1,439,129		会総講演		156,733
会誌	480,279		会大		456,791
員名簿	6,100		議大		81,230
の標準	952,750		習調		9,224
試入	489,675		査助		12,740
理法	52,000		会金		139,500
他入	185,400		費当		3,875,686
金子	252,275		礼料		3,229,871
入	1,445,550		立		231,980
子	50,000		金費		113,835
入	61,687		料		300,000
入	149,210		金		1,918,273
計	14,895,531		費		543,600
			室		543,986
			借筆紙墨		75,847
			及通		174,890
			通信		101,840
			費		142,762
			その他		335,348
			諸費		700,000
			料		583,597
			手数		14,895,531
			料		
			報償		
			費		
			金		
			積立		
			金		
			繰越		
			計		

別途会計収支決算

資金別	収		支	
	費目	金額	費目	金額
表彰並びに事業資金		185,173円	表彰費	185,173円
	前年度繰越	54,086		89,180
	本年度利子	89,632		
	調整勘定	41,455	次年度繰越	95,993
八幡製鉄渡辺記念資金		1264,173		1,264,173
	前年度繰越	470,709		
	本年度利子	793,464	次年度繰越	1,264,173
石原研究資金		738,562		738,562
	前年度繰越	11,200	鉄鋼技術共同	150,000
	本年度利子	727,362	研究会運営費	132,107
基金		1,043,084	員会研究費	456,455
	前年度繰越	1,000,000	次年度繰越	1,043,084
	本年度利子	43,084		
職員退職資金積立金		1,809,362		1,809,362
	前年度繰越	1,408,415	職員退職金	435,000
	本年度利子	100,947	次年度繰越	1,374,362
	本年度積立	300,000		
会館資金積立金		2,785,745		2,785,745
	前年度繰越	2,000,000		
	本年度利子	85,745		
	本年度積立	700,000	次年度繰越	2,785,745

財 産 目 録

別途資金財産目録明細

昭和 34 年 2 月 28 日現在

項 目	金 額	項 目	金 額
(資産之部)	円	表彰並びに事業資金	1,310,719円
什器	393,400	三井信託銀行信託預金	500,000
電 話	49,800	三菱信託銀行	300,000
借 室 敷	32,700	安田信託銀行	200,000
電 話 社	135,900	住友信託銀行	200,000
分 議 印 刷	60,000	三 菱 銀 行 普 通 預 金	95,993
鉄 鋼 標 準 試 料	87,900	野 田 文 庫 函 書 同	10,549
三 菱 銀 行 普 通 預 金	7,7000	什 器	4,177
日 本 勸 業 銀 行	125,307	八幡製鉄渡辺記念資金	11,264,173
東 海 銀 行	339,308	三井信託銀行信託預金	2,500,000
振 替 貯 金	59,767	三菱信託銀行	2,500,000
現 金	54,977	安田信託銀行	2,500,000
	4,238	住友信託銀行	2,500,000
合 計	1,350,997	三 菱 銀 行 普 通 預 金	1,264,173
		石原研究資金	10,456,455
		大和銀行信託預金	10,000,000
		大和銀行普通預金	456,455
別途資金財産	28,234,538	基 本 金	1,043,084
		三井信託銀行信託預金	1,043,084
		職員退職資金積立金	1,374,362
		安田信託銀行信託預金	1,374,362
		会 館 資 金 積 立 金	2,785,745
合 計	29,585,535	三菱信託銀行信託預金	2,785,745

昭和34年度 (昭和34年 3 月 1 日から 昭和35年 2 月 28 日まで) 事業計画ならびに収支予算

事 業 計 画		回数	時期	内容	回数	時期
I 会 議				品質管理大会 (他学会と共同)	1 回	11月
通常総会	1 回	4 月		塑性加工講演会 (他学会と共同)	1 回	12月
評議員会 (定例)	1 回	2 月		IV 表 彰		
理事会 (定例)	12回	毎月		服部賞, 香村賞, 俵賞, 渡辺(三郎)賞,		
支部長会議	12回	4 月		渡辺(義介)賞, 渡辺(義介)記念賞	1 回	4 月
II 委 員 会				V 刊 行		
編集委員会 (定例)	12回	毎月		会誌“鉄と鋼”	12回	毎月
企画委員会 (定例)	12回	毎月		英文アブストラクト No.8 (1958)	1 回	10月
鉄鋼標準試料委員会	2 回	随時		俵先生の思い出		7 月
工業規格委員会	4 回	随時		会 員 名 簿 (34年版)	1 回	12月
原子力研究委員会		随時		鉄鋼技術講座		随時
鉄鋼技術講座編集委員会		随時		鉄 鋼 便 覧 (改編)		12月
俵先生記念出版委員会		随時		ジャパン・サイエンス・レビュー採鉱冶金篇		
特別資金運営委員会		随時		(他学会と共同)	2 回	3 月, 9 月
表彰選考委員会	2 回	2 月		VI 分 譲		
III 集 会				鉄鋼標準試料 (22種)		常時
春季講演大会および見学会 (東京)	1 回	4 月		会 誌		常時
秋季講演大会および見学会 (関西地区)	1 回	10月		会員名簿, 会員章		常時
講習会	2 回	随時		VII 特別資金による事業		
講演会	4 回	随時		懸賞論文の募集	1 回	5 月
座談会	4 回	随時		渡辺記念講演会の開催	本 部 2 回	随時
鉄鋼技術共同研究会 (重工業局, 鉄鋼連盟と共同)				各支部 1 回	随時	
実行委員会	2 回	4 月, 10月		海外渡航者への調査委託		随時
製鉄, 製鋼, 鋼材, 特殊鋼, 熱経済技術, 品質管理,				鉄鋼研究助成金の交付		随時
調査, 新技術開発各部会並びに分科会			随時			